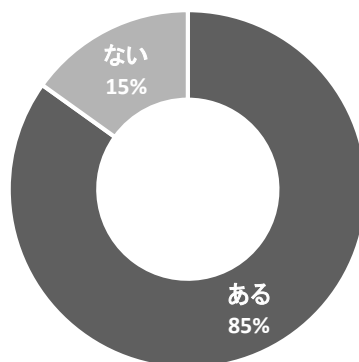


## 外国の方に対する意識等調査まとめ

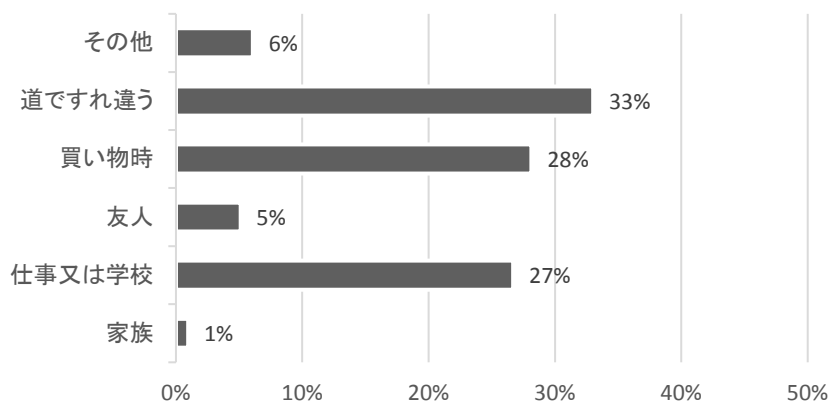
回答対象者:つくば市役所全職員  
期間2017/9/14~2017/9/29

回答数748人

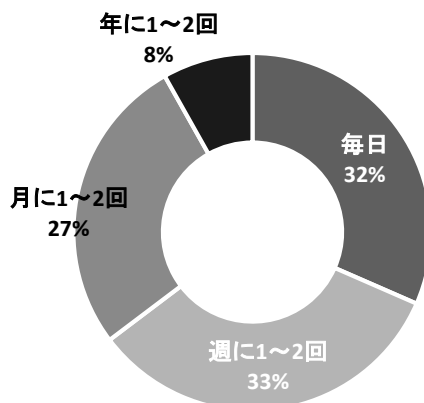
問01)外国の方と1年に1回以上接する又は見かける機会がありますか。  
(単数選択式)



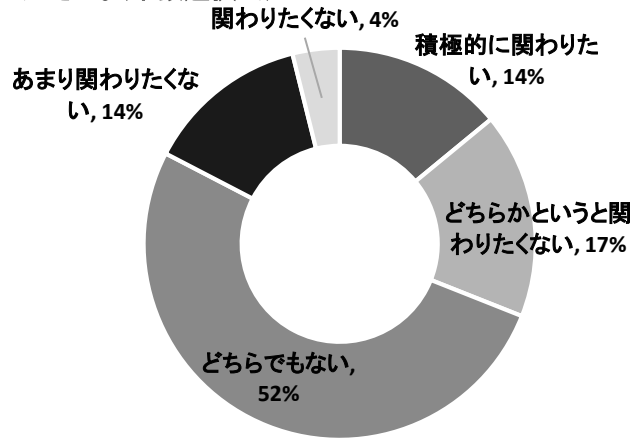
問02)問01であると答えた方に質問します。どのような機会(又は関係、場所)ですか。(複数回答可)(複数選択)



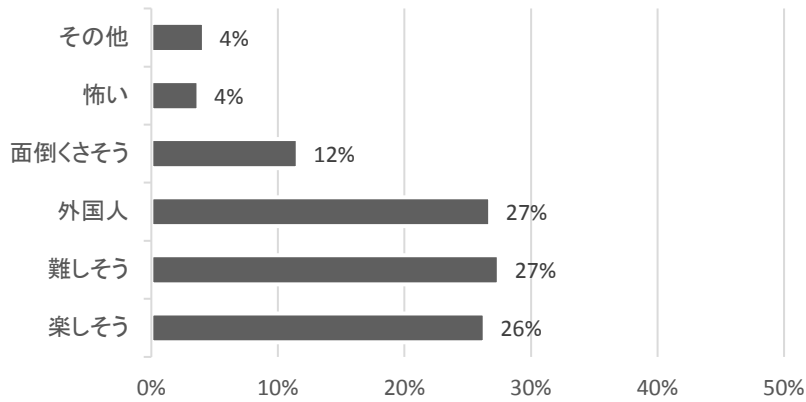
問03)問02の回答はどれくらいの頻度ですか。一番多い回数を選択して下さい。(単数選択式)



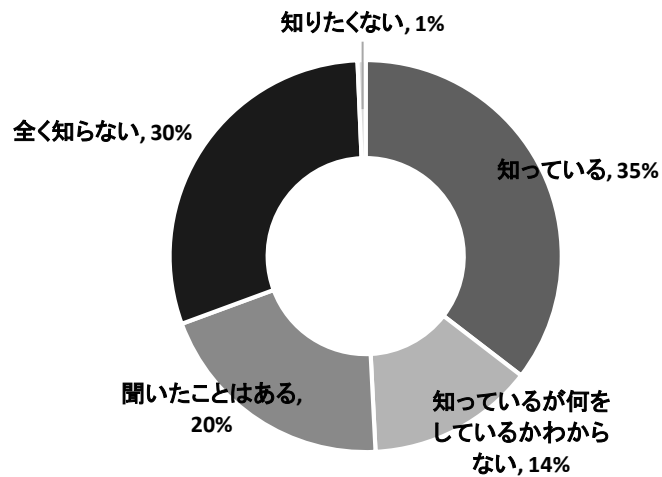
問04)外国の方と関わることに對して質問します。関わりたい度合いを次の中から選別してください。(単数選別式)



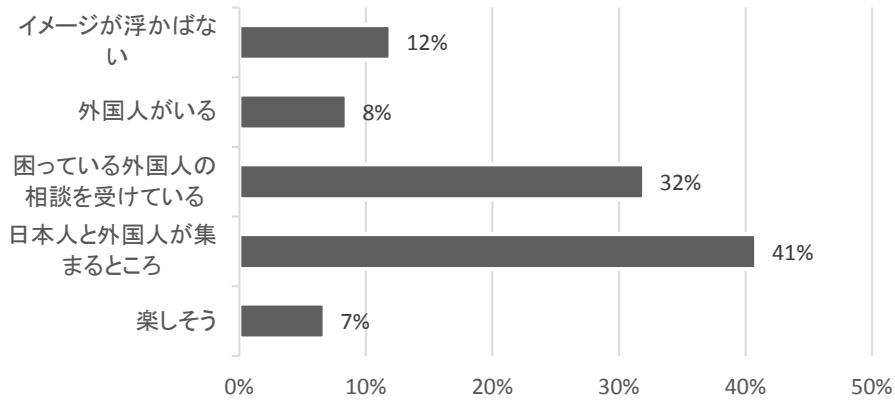
問05)「国際交流」という言葉から連想するものは何ですか(複数選別式)



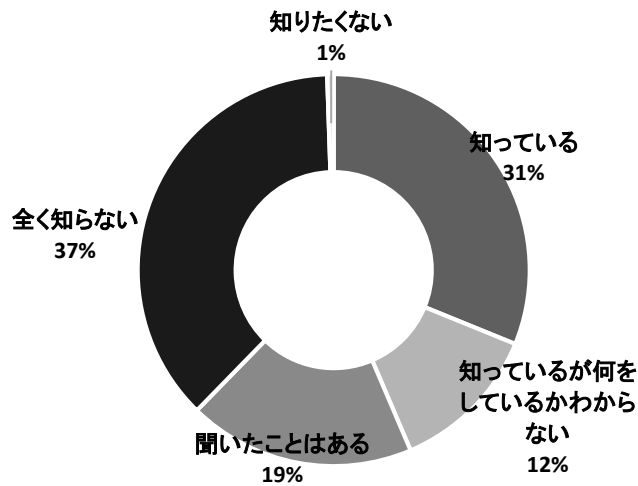
問06)各市町村等にある「国際交流協会」という組織をご存知ですか(単数選別式)



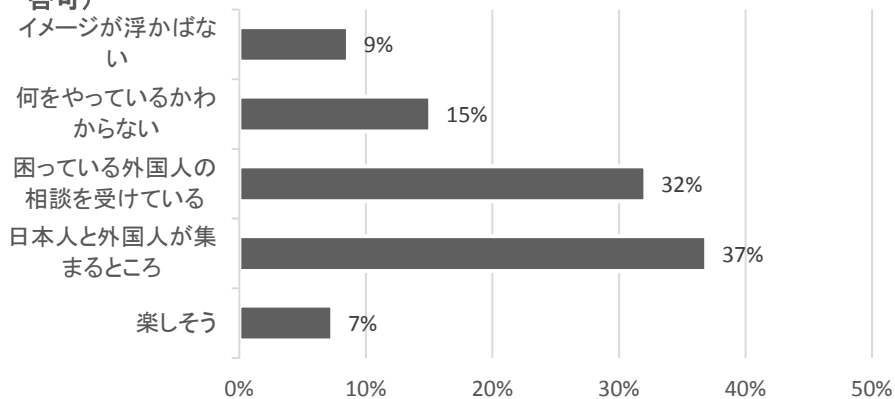
問07)問06で「知っている」と答えた方に質問します。「国際交流協会」についてどのようなイメージを持っていますか？(複数回答可)



問08)「一般財団法人つくば市国際交流協会」はご存知ですか？



問09)問08で「知っている」と答えた方に質問します。「一般財団法人つくば市国際交流協会」についてどのようなイメージを持っていますか？(複数回答可)



## アンケート結果のサマリー

回答件数748人  
有効回答率100%

今回のアンケートではつくば市役所の職員全員に「外国の方に対する意識について」を調査した。

年齢層としては概ね労働年齢(22歳～60歳)で男女共にある。仕事の内容としては、行政職であり、幅広い分野に関わると考えられる。外国人との関わりは職種によりかなり違うと考えられる。

問1)

外国の方と1年に1回以上接する又は見かける機会があると答えた人は85%であり、関わる相手方が外国人と意識する確率はかなり高いと考えられる。

問2)

相手が外国人と意識する場所については、道ですれ違う33%、買い物時28%、仕事又は学校27%とこれら3つの項目は僅差である。

友人5%、家族1%とつくば市役所職員は、友人や家族構成員に外国人が少ないことがわかる。

問3)

外国人に会ったと意識する頻度であるが、毎日32%、週に1～2回33%、月に1～2回27%と僅差で、友人や家族に外国人がいない割には遭遇する機会が多い。

問4)

それでは、遭遇した外国人に対して、関わりを求めているかであるが、どちらでもないがであり、あまり関心を持っていない人が半数である。積極的に関わりたい人が14%、どちらか52%という関わりたくないが17%、あまり関わりたくないが14%と、外国人に関わることにに対して消極的なことがわかる。

問5)

「国際交流」から連想するものは、外国人27%、難しそう27%、楽しそう27%と僅差であり面倒くさそうが12%、怖い4%となっており、「国際交流」のイメージはそう悪くはない。

問6)

一般的に「国際交流協会」についての認知度を聞いてみたところ、知っているが35%、全く知らないが30%と僅差で、2分されていることがわかる。知っているが何をしているかわからないが14%、聞いたことはある20%と外国人との関わりは消極的であるが、「国際交流協会」という組織が各市町村にあるようだ、と知っている人は1/3程度はいるということだ。

問7)

それでは、国際交流協会のイメージは日本人と外国人が集まるところ41%、困っている外国人の相談を受けている32%など、外国人主体のサービスをしている印象がある。イメージが浮かばない12%、外国人がいる8%、楽しそう7%と漠然とした印象より、具体的な印象を持っている。

問8)

つくば市国際交流協会の認知度は、知っている31%、全く知らない37%と僅差であり、知っているが何をしているかわからない12%、聞いたことはある19%と何となく印象が

ある人は上記の約半数である。知りたくないと言った否定的なひとは1%とわずかであることから、全く知らないの分野を知っているに移行できる努力をすることで、知っているが何をしているかわからないと聞いたことがあるの人たちも知っているに移行する可能性は大きい。

問9)

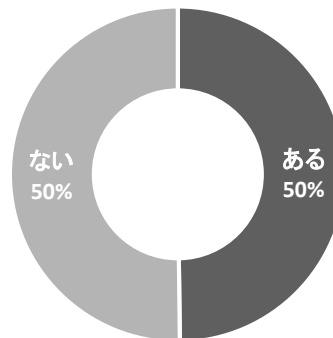
認知度は31%であったが、イメージはどうか。日本人と外国人が集まるところ37%、困っている外国人の相談を受けているが32%となっている。一般的な国際交流協会のイメージとほぼ同じ結果である。認知度を上げるためには、今あるこのイメージが膨らむような企画を実施すると、認知されやすい。

# (一財)つくば市国際交流協会に関するアンケート集計結果

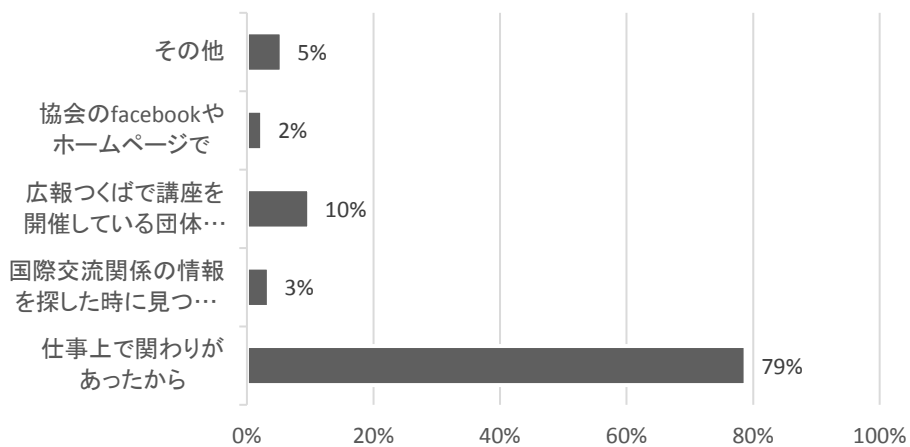
回答対象者:つくば市役所全職員  
期間2017/10/12~2017/10/27

回答数783人

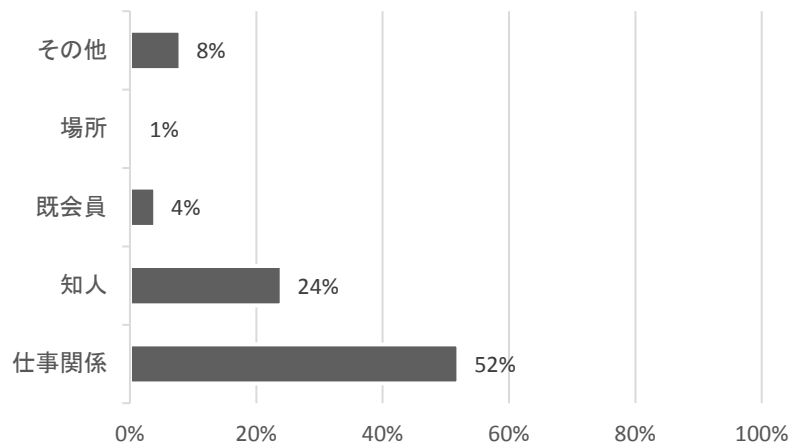
問01)(一財)つくば市国際交流協会を知っていますか。(単数選択式)



問02)問01であると答えた方に質問します。どのようにして(一財)つくば市国際交流協会を知りましたか(複数回答可)(複数選択)



問3)そのきっかけを教えてください。



▼コメント

【A仕事関係】

財団と一緒に仕事をしていた。／事務局からの賛助会員募集による／市職員OBに賛助会員に勧誘されたから／賛助会員募集により／夫の仕事関係で知った／財団職員として知っている人がいる／市職員として存在は知っていた／旧庁舎時代、教会関係者？が庁内を回って入会勧誘(集金)をしていたのを見て／庁内で賛助会員の募集案内が回ってきたから。／職員の派遣／職員研修／10月2日新規採用研修会の研修にて／新任研修で知った。

【B知人】

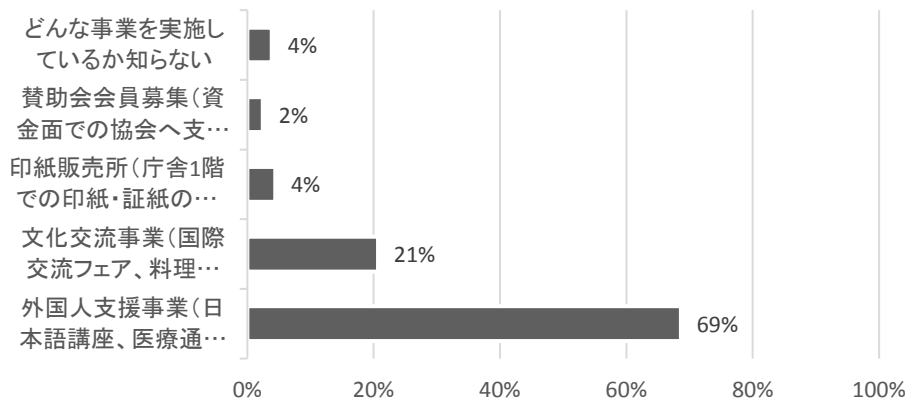
知人／知人がいたから／国際交流協会に知人がいる／仕事とは別に、教会関係者(元職場上司)と話す機会があったから。／小学校のPTA関係

【C既会員】

賛助会員になっていた時期がある。

【場所】

問04問02の回答はどれ位の頻度ですか。一番多い回数を選択してください。(単数選択式)

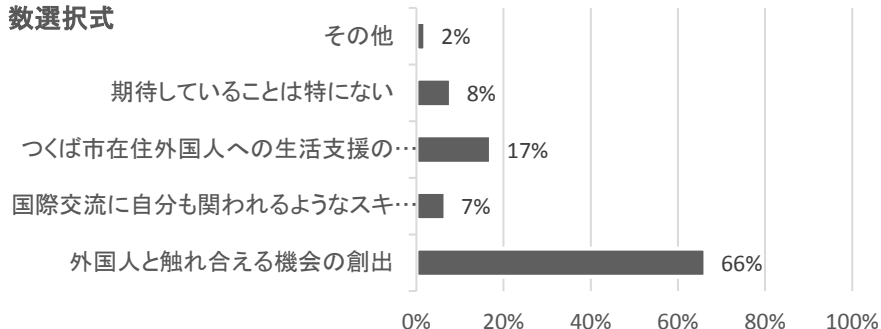


問05)問4で「その他」と答えた方は、その事業名を教えてください。

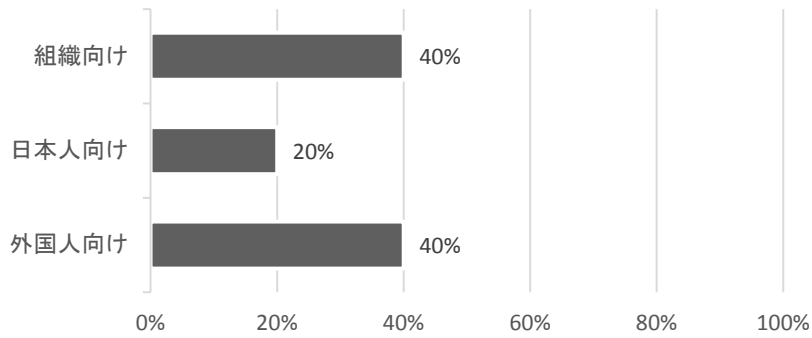
▼コメント

シティチャットカフェ／

問06) (一財)つくば市国際交流協会に期待していることはありますか。最も期待していることを選択してください。(ひとつだけ選択してください)(単数選択式)



問07)問6で「その他」と答えた方は、期待している内容を教えてください。



▼コメント

【外国人向け】

つくば市在住外国人への様々な支援(特に日本語障壁の課題等の解消)国際交流フェアなどの充実など/日本の生活習慣の広報外国人向け相談事業の拡充、多言語化対応/つくば市のイベントなどで利用できる通訳がほとんどいないため、通訳に力を入れて欲しい。

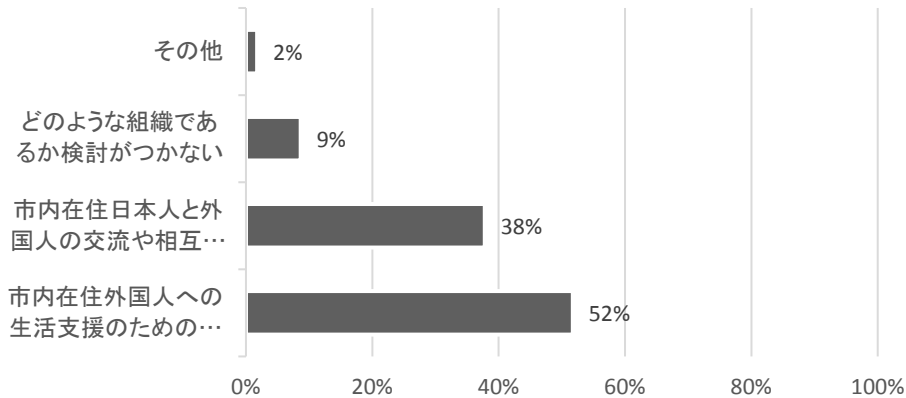
【日本人向け】

姉妹都市との交流をもっと活発に行うべき

【組織向け】

外国人との交流を通して、経済活性化や地域活性化に繋げて、交流活動が再

問08)問01で「いいえ」と答えた方にお聞きします。どのような組織だと思いますか。(単数選択式)



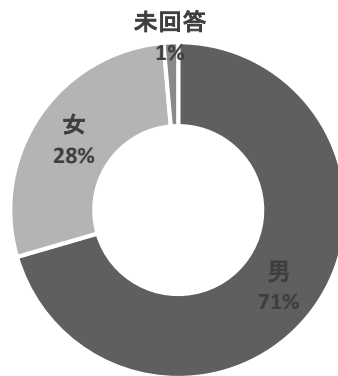
問09)問08で「その他」と答えた方は、どのような組織だと思うか記入して下さい。

▼コメント

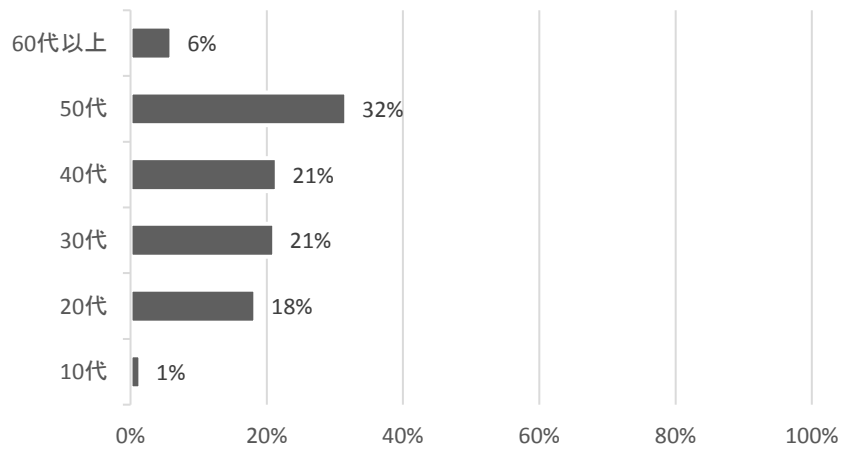
不明/つくば市国際交流協会という名前から連想しました



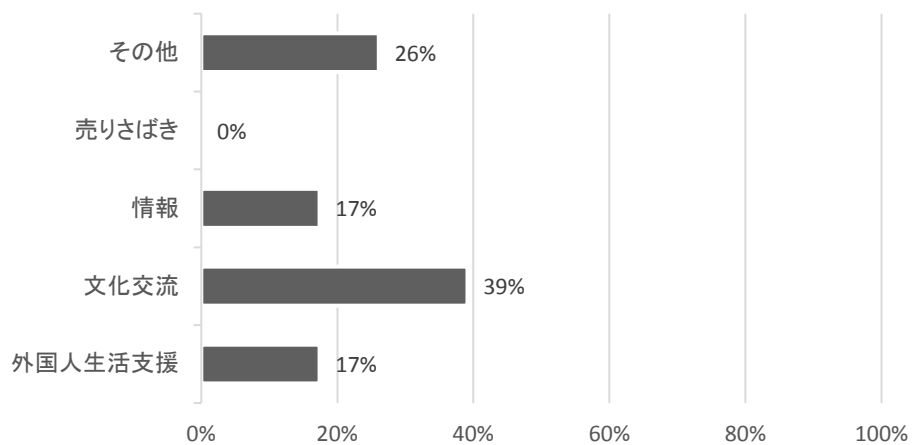
問10) 差し支えなければ、性別を教えてください。(単数選択式)



問11) 差し支えなければ年齢(年代)を教えてください(単数選択式)



問12) ご意見・ご感想あればご記入ください。



問12) (一財)つくば市国際交流協会に対するご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

#### 【外国人生活支援】

- ・特に外国人を支援する必要はないが、日本語学習の支援は必要だと思う。
  - ・筑波研究学園都市の成長には外国人研究者の誘致が重要であり、外国人研究者の誘致には来日する研究者とその家族が住みやすいことが必要であることから、さらなる支援をしていただきたい。
  - ・日本語教師を目指しており、カピオ等で実施している日本語講座のボランティアをしてみたいと思っているが、そういった情報を見つけることが出来ない。情報提供の方法を再考して欲しい。国際交流協会へ訪問すると階段の壁に外国語講座の案内やイベントの情報が張り出されていてとても良い。こういった情報を協会のHPで見られるとさらに良いと思う。
- 筑波在住の外国人の方の拠り所として重要な役割を果たされていると思います。

#### 【文化交流】

- ・今後とも2020年度の東京オリンピックに伴いつくば市において国際化が進んでいくので頑張ってもらいたい。
- ・外国人と接し、友好を深める機会の提供を願う。
- ・つくば市のポテンシャルのひとつは、国際性(外国人居住数、外国生活経験者の多さ)であるので、国際性を活用した事業展開を推進し、外国人と日本人が理解し交流してウィンウィンの関係を構築して欲しい。
- ・つくば市在住外国人への様々な支援(特に日本語障壁の課題等の解消)、国際交流フェアなどの充実などこれからも頑張って活動を続けて下さい。
- ・活動内容をもっとPRすべき。
- ・市の観光関係事業(まつりつくばなど)においてはタッグを組み交流の熟成に寄与してくれていると思います。つくば市は世界の国からたくさんの方が来る土地柄なので、地道に交流の裾野を広げる機会を繰り返し続けていただき一般市民の方と交流のきっかけ作りを続けていただきたい。
- ・普段生活をしていて国際交流をする必要性を感じない。同じ職場や、ご近所にそういった方がいないと国際交流とは無縁であり、積極的にそういったことに関わりたいという人にしか関係してこない協会というイメージがある。興味がないからなのかもしれないが、あまり活動などの実績を目にすることもないので活動の幅を広げたいのであればPR活動や、色々な場で交流しなければならない場を設けて、認知活動に努めてみればと思う。
- ・市内にはたくさん外国の方がいるだけで、かかわりがほとんど無く、市民としては国際都市は名ばかりで恥ずかしく感じてしまいます。もっと色々な場所に出て交流できることを期待します
- ・気軽に国際交流が出来る機会があると楽しいと思います。
- ・国際都市と言われる割に、国際交流協会の活動が見えないので、在住外国人の生活をサポートしたり、交流を持つ場を提供していただけたらと思います。水戸市国際交流協会の活動が活発なので、参考になるのではないのでしょうか。また、ホームステイの登録事業の随時していただけると交流を推進出来るのではないかと思います。

・通訳に力を入れて欲しい。

#### 【情報】

- ・活動内容の情報発信が少ないのではないのでしょうか。PR次第で活動に対する賛同者が増える気がします。
- ・賛助会員になっているが、会費が何に使用されているのか分からない

#### 【売りさばき】

#### 【その他】

- ・自発・積極的に個人賛助会員となれるような魅力ある企画や催事を心がけて下さい。当事者の方はご苦労あるかと思いますが、付き合いで会員にならざるを得ないような現状では、一般市民はもちろん職員の理解も得られないと思います。(残念ながら正直言って印象は良くありません)
- ・水戸市の国際交流協議会がかなり頑張っている印象がある。つくば市も今以上に精力的な活動を推進していくことを期待する。
- ・国際室との棲み分けがあまり出来ていないように感じますので、必ずしも必要な組織とは思えません。
- ・職員に対しての入会(会費徴収)の営業活動について考慮して欲しい「世界の明日がみえるまち、つくば」の一翼を担う組織として期待しています。
- ・近所に多くの外国人が暮らしています。散歩する方々と会話したり、時には庭先でお茶(コーヒー)を飲んだりする機会があります。ちょっとしたふれあいかもしれませんが、お互いに楽しんで交流しています。積極的な交流を望むものではなく現状に満足しています。
- ・事業範囲に国際「交流」に留めず、つくばの国際化の「推進」まで含められると活動の幅が広がると思います。
- ・もっと国際交流事業を行って欲しい。イベント運営等。市に頼らず自分で運営できるようになるのが理想。

#### ▼コメント

## アンケート結果のサマリー

回答件数783人  
有効回答率100%

今回のアンケートではつくば市役所の職員全員に「つくば市国際交流協会について」調査した。9/10～9/24までの「外国人に対する意識調査」の第2弾である。年齢層としては概ね労働年齢(22歳～60歳)で男女共にある。仕事の内容としては、行政職であり、幅広い分野に関わると考えられる。外国人との関わりは職種によりかなり違うと考えられる。

問1)

つくば市国際交流協会を知ってるかに対して50%がある、50%がないと2分されている。アンケート2回目であるが認知度が50%というのは低いのではないか。

問2)

問1)であると答えた方にどのようにして当財団を知ったかでは、仕事上で関わりがあった79%が一番多い。その他広報つくば、FB、際交流関係の情報を探して見つけたなどは10%以下となっており、仕事上知り合った以外の認知度は著しく低い。

問3)

きっかけについても、仕事関係が52%と多い。次は知人ということで、口コミによる情報が多い。

問4)

仕事内容の関係の頻度についてであるが、外国人支援事業が69%、文化交流事業21%でありボランティアに関わる場合の頻度が高い。

問5)

問6)

当協会に一番期待していることは、外国人と触れ合う機会創出66%であり、その他は10%一般的に「国際交流協会」についての認知度を聞いてみたところ、知っているが35%、全く前後ということから、外国人と交流のチャンスを作ってくれる場として期待されている。

問7)

問6)でその他回答者の期待しているカテゴリーは、組織向け、外国人向けがそれぞれ40%となっておりほとんどを占めている。

問8)

問1)いいえと答えた人は、当協会の名前から想像する業務としては、在住外国人の生活支援52%、交流事業が38%となっている。

問10)

性別は、男性71%、女性28%であった。

問11)

年齢は、50代32%、30代、40代21%、20代18%である。

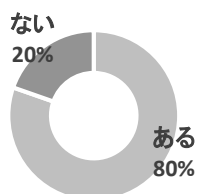
問12)

その他意見や希望についての分野であるが、文化交流39%、その他29%、情報外国人生活支援17%となっており、外国人との交流を望み、その情報を欲しがっている様子がわかる。

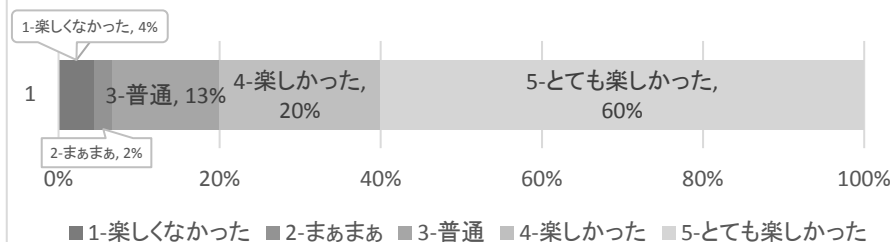
## 【関係者】 つくば市国際交流協会についての意識調査

回答数56人

### 1. 事業に参加者として参加したことはありますか？



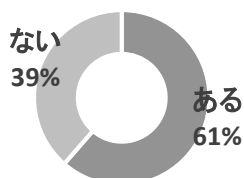
### 1-2. 参加してみた感想をお願いします



#### ▲ comment

楽しい感覚はない。興味深い。／事業によって異なる 評価できない／ボランティアとして労働奉仕をしなければならないと作業をこなし、疲労困憊してしまう／ガイド養成講座に参加しました。講習自体は楽しかったですが、その後日程が合わないことが多く、生かす場面が無く・・・／他国の知らないことを知るの出来る嬉しさ／日本語講座のみですが楽しく勉強になります／シティチャットカフェについて：主催者の筑波大学留学生の皆さまは一生懸命取り組んでくださっていますが、私の年齢とジェネレーションギャップがあり過ぎました。もう少し大人の会話ができる会があればと願っています。

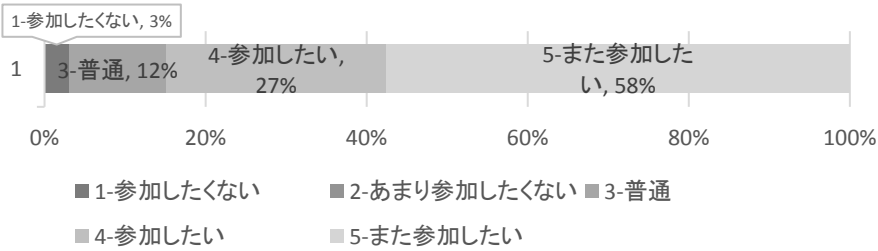
### 2. 事業を開催者側として参加したことはありますか？



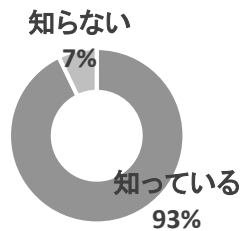
#### ▲ comment

楽しい感覚はない。興味深い。／フェスティバルの際に、コンベンション協会のブースでガイドブックを配布してもらいました。※自分たちのブース出展ではなく、一緒に配布してもらったため、どの程度の反響だったか、効果があったか、不明。今後、ツアーオフィスでの出展が叶えば、より良いかとは思いますが。／英語スピーチコンテスト／他国の知らないことを知るの出来る嬉しさいろいろな国の方に接することの喜び／参加し

## 2-2. また参加したいと思いましたが？



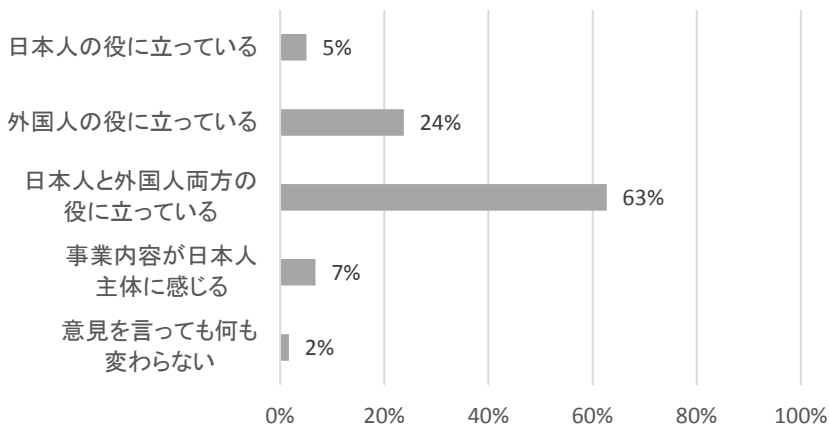
## 3. どのような事業をしているのか知っていますか？



### ▲ comment

全てではありませんが(知っている)／ある程度。／1度、ホームステイの経験をしました。又機会がありましたら受け入れたいと思います。／外国人への異文化理解事業／よく知っているのは「世界お茶のみ話」と「シティーチャットカフェ」のみ

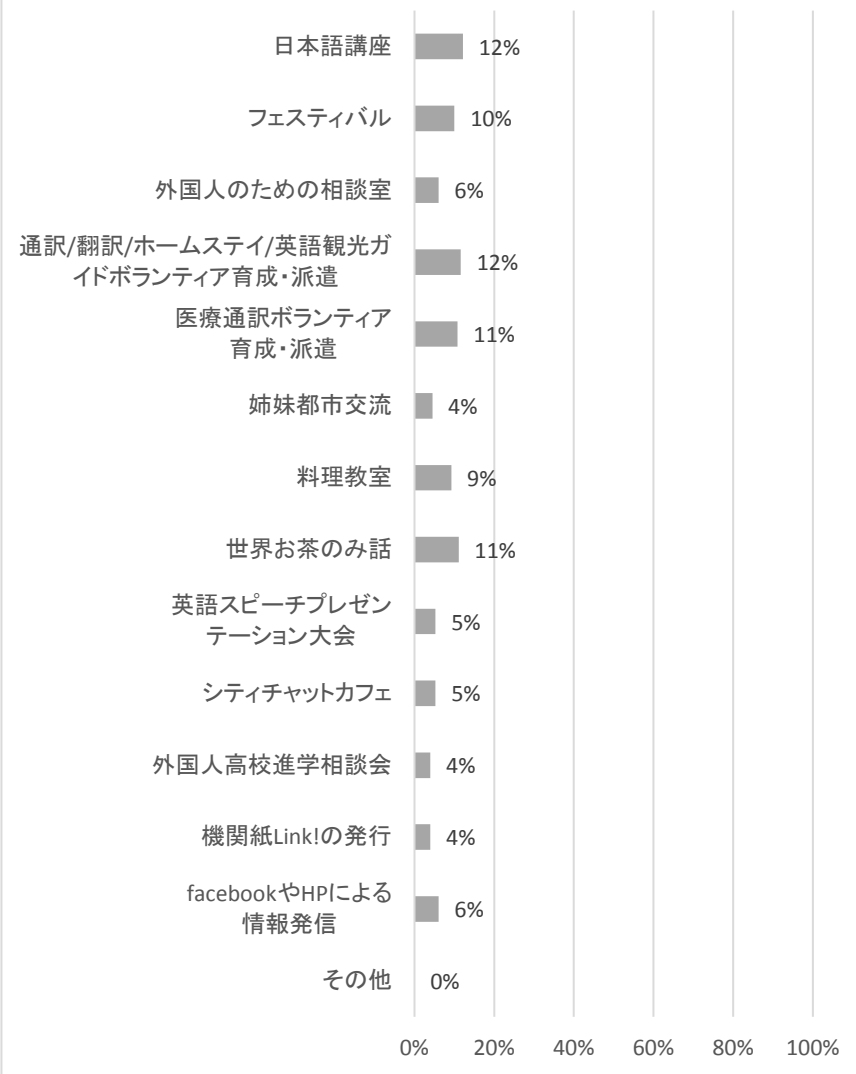
## 3-2. 事業内容にどのように感じているか聞かせて下さい



### ▲ comment

事業によってことなる 評価できない／私は日本語を教えていますがお教えさせていただき喜びを感じながら楽しくしています／上記2つ(お茶飲み・シティーチャット)の事業については日本人の参加者が多いのに驚いた。つくばには英語で外国人と会話したい人が多くいると思う。他の事業では外国人の役に立っているものがあると思うがよく知らないので評価を差し控えた／正直に申し上げて、双方にどのように役に立っているのか、まだ実感できていません。

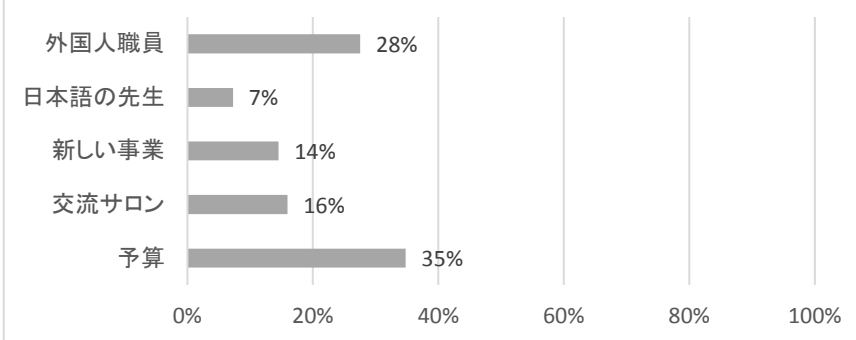
### 3-2. 下記事業で知っているものにチェックしてください



#### ▲ comment

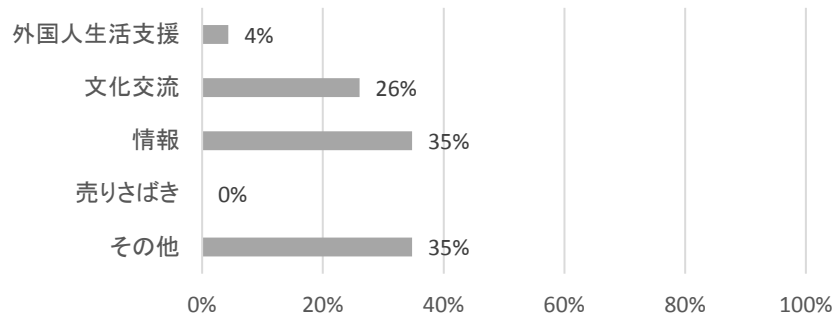
さらに市民への事業の周知徹底をお願い致します。／外国人との交流があまりない／他町村に比べて多い事業ですね。つくば市だからさすがですね。

### 4. 今後成長するために必要なことは何だと思いますか？





#### 4. 今後成長するために必要なことは何だと思いませんか？



##### 【外国人生活支援】

・夜間に開講される初心者向けの日本語クラスがあると助かります。  
・二十年前、今のイノベーションの3階のホールで、県の国際交流協会主催の、教材費のみの「外国人と日本人のための華道教室」に参加して、たまたま隣に座った女性と話すようになり、それが縁で私は一生の親友を得ました。  
もうすでに日本語教室は手伝っていましたが、彼女ほどの友人を得ることはできませんでした。その教室が修了した後、二人で筑波大の華道教室に参加したり、ヨガ教室に参加したり、旅行をしたりしました。彼女は高エネ研の研究者の妻として日本についてきたスイス人です。私がロンドンのコンサートへ行った時もスイスから飛んで来てくれたし、彼女にお子さんが生まれたとき私もお祝いに行きました。その後彼女は重い病気にかかり今も闘っていますが、来年の一月末にご主人とつくばに久しぶりに訪ねてきてくれるというニュースが来ました。車イスでの来日かもしれませんが、それだけつくばを気に入っているのです。  
これは私が運がよくて素晴らしい女性と出会えたからにはほかなりませんが、それだけでなく、最初の出会いが、お互い生徒同士で対等な関係だったことも要因としていけるような気がします。日本語教室だと、ボランティアとはいえ、生徒と先生の関係になってしまい対等な関係にはなりにくいところがあります。かといって、松井先生が今なさっているようなマンツーマンの日本語教室だと、関係が深くなるので相性が良ければいいですが、トラブルが発生することもありうと思います。つくば国際交流協会が今主催している事業を今回のアンケートで大体把握できましたが、継続して日本人と外国人と一緒に何かに取り組める教室的なものはないことに気づきました。今ご一緒にやっている濱野先生もそのような教室をイメージしてらっしゃったように思います。私も下手ですが一応華道の資格は取りましたし、そのような日本文化的な資格を持って無料で教えることをいとわない方は結構この街にはいらっしゃるのではないのでしょうか。一緒にボランティアに参加するようなこともいいかもしれません。人はどこに行ってもお互いが与えあえる関係を望んでいるような気がします。差し出たところかもしれませんが、病気の彼女が二十数年ぶりにつくばに来てくれるニュースからそのような、日本人も外国人も一緒に学べるような教室や一緒にボランティアできるような場があれば真の国際交流の場になるような気がしました。

##### 【文化交流】

・ララガーデンの一階ラウンジや、子育て支援センターの中など、日本の子連れやお買い物ついでに寄れるようなところで、外国の方の子連れのお母さんと遊べる企画があると楽しそう  
・通訳、翻訳はかなり高いレベルを必要としているように感じます。先日の小学校の国際交流プログラムはゲストの英語力が分からず、事前の説明会も無く、不安で応募することが出来ませんでした。  
・外国人と日本人 共に楽しめるようなイベント開催があれば良い。  
例えば、つくば山登山、ヨガ、スキー教室、茶道、華道、習字 など  
・ぜひ、ツアーオフィスと共同でイベントを行ったり、通訳ガイドさんが活躍できるような仕組みを作りましょう。  
・つくば市内の様々な場所(外国から来た人が居住する地区)に出かけ、ニーズをとりえたり小さなイベントを開いたりすること。

・私は英語観光ガイドボランティア育成・派遣講座を受講し、ボランティア登録した者です。この講座はアン先生が熱心に取り組んでくださり、大変有意義な経験をさせていただいたと感謝しております。終了後他の受講者から聞いたことですが、過去にボランティア登録した方は全くボランティアの仕事などないとのこと。残念に思っております。私は観光ガイドをするほどの英語力はありませんが、つくば市在住の外国人の皆さまが生活上で何か困りごとがあった時に、少しでもお手伝いできればと思いボランティア登録しました。しかしながら、ボランティア登録の登録条件には「ちょっとお手伝い」のような項目はありません。貴協会を通して、ちょっとお手伝いするようなボランティア活動はできますか？困っている外国人とお手伝いできるボランティアをマッチングさせるような事業があればと願っております。もう既に活動されていて、私が知らないだけでしたら、失礼な質問をどうかご容赦ください。

#### 【情報】

- ・既存の事業でも、プレゼンが悪いので、検索で引っかかるようなウェブにすること。SNS発信。構成、組織、わかりやすさ。企画のプロをいれるのも一案。
- ・来日者への対応だけでなく、つくば市から海外に積極的に企業紹介や海外の企業を日本企業へ紹介。
- ・定期的に広報誌などに活動を報告。イベントの案内を見かけることもあるが、少ない印象がある。
- ・日本語学校との連携、つくば市国際交流協会からの更なる情報発信、スタッフへの教育訓練、地元住民との農業及び産業フェスティバルの開催、近隣県(千葉県松戸市や柏市等)との交流、つくば市国際交流協会への認知度等アンケートの実施と評価、成長戦略のためのスタッフへの関係機関への視察  
大変だと思いますが、こまめな広報活動で広く知ってもらうことが必要だと思います。
- ・小さな町あれば市の音頭取りによって国際交流の主体者が市民にはっきり認知されますが、つくば市のように多くの機関が外国人との交流を結んでいるとなると、市主催であっても、各機関の主催する行事が多すぎて市民の目には耳目を惹くイベントには映らないのではないのでしょうか。つまり認知度が低いのではないかと思っています(素人判断で申し訳ありません)。その対策として外国人を招聘している各機関にアンケートを取って、各機関が外国人への対応として市に何を求めるのかを聞き出すのは如何でしょうか(これも素人提案で申し訳ありません)
- ・時代も地域も変化するわけで、その時代に適応した事業の展開を希望します。それは言うは易く、行うは、、ですが、外部からの意見を常に入れることと、現状把握のためのリサーチ、指標化をしっかりとすることが必要かと思われます。
- ・交流協会の活動を外国人にもっとアピールする
- ・外国人コミュニティの組織化、情報発信。つくばに在住する外国人の一覧などがあると有益

#### 【売りさばき】

#### 【その他】

- ・オリンピックにひっかけて何か新規なこと
- ・国際交流について研究している専門家の意見や各市町村の取り組みなど分析が必要に思う。
- ・交流サロンは意味が分からないが、簡単に集まれる場所が必要
- ・育成後のボランティアの自主的な活動を推進支援する方向もあるのではないかと思います。協会独自の相談室や会議室が必要だと思います。
- ・各事業間の連携。ある事業に関係している者が、他の事業については全く知らないため、全体の中の位置づけ等が分からず行動しにくい。また、この交流協会とつくば市との関係もはっきりしたら良いと思う。
- ・東京都のボランティアをやっているが、名札とユニフォームがあるとよい
- ・外国人職員に外国人としての意見を聞ければ参考になると思います
- ・財政が厳しい中、方法は浮かびませんが、各研究所や他企業を巻き込む

## アンケート結果のサマリー

回答件数56人  
有効回答率 100%

今回のアンケートでは、当協会の事業に関係した56人に「(一財)つくば市国際交流協会についての意識調査」を実施した。  
年齢層としては概ね労働年齢(30歳～80歳)で男女共にある。仕事の内容としては、バラエティに富んでおり、仕事の一環として一緒に仕事をした人、ボランティアとして一緒に仕事をした人が同時に含まれている。

問1)

当協会事業に参加者として参加したことがあると答えた人80%、調査対象が事業に関係した人のため、このような結果になっている。

問1-2)

参加した感想であるが、とても楽しかったが60%、楽しかったが20%、参加者に対する満足度は比較的高いものである。

問2)

事業を開催者側として参加した人は全体の61%、かなりの割合で企画運営に携わっている。

問2-2)

また参加したい58%、参加したい27%、普通12%とあり、開催者側としては、手ごたえがある事業内容であった。

問3)

事業内容の理解についてであるが、事業内容を知っているひとは93%であり、実際参加者に聞いているのであるから、最もな数字である。逆に知らない7%については、自分が参加しなかった事業については知らないということであろう。

問3-2)

事業内容から感じられるものは、日本人と外国人の両方の役に立っている63%、外国人の役に立っている24%、日本人の役に立っている5%、ということから、両者の役に立つと言うことは、当協会の企画の方向としては間違っていないのである。  
少数意見ではあるが、日本人主体に感じる、意見を言っても何も変わらないといった意見は協会の柔軟性を求める意見として無視はできない。

問3-3)

知っている事業について、全体的に10%前後である。日本語講座、フェスティバル、ボランティア関連、お茶のみ話など、ボランティア主体となり活動している事業ほど高いことがわかる。

問4)

今後成長に必要なことは、予算、情報、その他が35%、外国人職員28%、文化交流26%が次点となっており、交流の機会を情報に求め、外国人のいる環境を欲している。